

中部教育学会 第 68 回大会プログラム

2019（令和元）年 7 月 6 日（土）

会場：朝日大学 6 号館

【大会の日程】

9:30	受付開始
10:00	自由研究発表（全 6 分科会/6 号館 5・6 階）
12:35	
12:35	昼食/理事会（5 号館 第一会議室/休憩）
13:40	
13:50	総会（6 号館 6202 講義室）
14:20	
14:30	公開シンポジウム
17:00	「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを問い直す （6 号館 6202 講義室）
17:00	懇親会（6 号館 食堂）
19:00	

後援

岐阜県教育委員会

瑞穂市教育委員会

中部教育学会第 68 回大会 実行委員長 服部 哲明

[お問い合わせ]

〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851 朝日大学 教職課程センター

中部教育学会第 68 回大会 事務局長 山下 廉太郎

TEL 058-329-1293（直通） E-mail : rentaro@alice.asahi-u.ac.jp

大会参加要領

1. 会場

- ・会場は朝日大学6号館です(9-11頁の「会場配置図」および8頁の「キャンパスマップ」をご参照ください)。
- ・会場の最寄り駅はJR東海道本線「穂積駅」です。南口より大学まで、スクールバス(「朝日大学」直通)もしくは名阪近鉄バス安八穂積線(「朝日大学北」下車)をご利用場合は約5分、徒歩の場合は約20分かかります(7頁の「アクセスマップ」および「時刻表」をご参照ください)。

※名阪近鉄バスは片道170円、朝日大学スクールバスは無料をご利用できます。

※非常勤講師用の駐車場がございますが台数が限られているため、当日はなるべく公共交通機関をご利用ください(7頁の「アクセスマップ」をご参照ください)。

2. 受付

- ・受付開始時間：9:30 ・受付場所：6号館1Fエレベーターホール
- ・受付にてネームプレートをお渡しいたしますのでご記名の上お付けください。
※当日の午前中は学内行事と重複しておりますので受付の際に混雑が予想されますが、ご承知おきください。

3. 会費

- ・大会参加費：1,000円(会員も当日会員も共に参加費は同額です)
- ・懇親会参加費：3,500円(事前申し込みの制度をとっていませんので当日奮ってお申し込みください)

4. 自由研究発表

- ・時間：個人発表一発表20分、質疑応答5分 共同発表一発表30分、質疑応答10分
※共同研究であっても口頭発表者がお一人の場合は「個人発表」となります。
- ・会場：9-11頁の「会場配置図」をご覧ください。

5. 昼食

- ・学内のファーストフードコーナー(6号館1F)、もしくは近隣のコンビニや飲食店をご利用ください。

6. 懇親会

- ・食堂(6号館1F)において17:00より行ないます。

＜午前の部＞ 10:00～12:35 自由研究発表

【第1分科会】（6号館 6602 講義室）

司会：豊田和子（名古屋芸術大学）・江頭智宏（名古屋大学）

- ① 10:00～10:25 ドイツにおける幼児期のカリキュラムに関する研究
- 「自己形成」としての Bildung 観からコンピテンシー志向へ-
内田 将平（名古屋市立大学）
- ② 10:25～10:50 ドイツにおけるコンピテンシー志向の幼児教育改革に関する一考察
- 幼小連携・接続の取り組みを中心に-
渡邊 眞依子（愛知県立大学）
- ③ 10:50～11:15 幼稚園における物語創作サイコロを用いた言語表現活動の意義と可能性
○椎名 渉子（名古屋市立大学） 渡邊玲（学校法人渡辺学園 ながら幼稚園）
上田 敏丈（名古屋市立大学）
- ④ 11:15～11:40 保育環境への気付きを目指した実習記録の試みⅡ
- 未来の保育者と作る実習の在り方-
○本郷 采也乃（ほうりん福祉会 寺子屋まんぼう）
牧野 彰賢（ほうりん福祉会 寺子屋まんぼう）
上村 晶（桜花学園大学）
- ⑤ 11:40～12:05 保育園 2 歳児担当者の語りによる同僚性に関する研究
安藤 香（名古屋市立大野保育園）
- 12:05～12:30 全体討論

【第2分科会】（6号館 6605 講義室）

司会：上田敏丈（名古屋市立大学）・北島信子（桜花学園大学）

- ① 10:00～10:25 科学絵本の読み聞かせの効果
橋本 美彦（中部大学）
- ② 10:25～10:50 「保育内容（環境）」の講義内容と学生の学びに関する一考察
田中 卓也（静岡産業大学）
- ③ 10:50～11:15 一人ひとりの子が探究を実現するためのしかけの研究
-S 教諭（奈良女子大学附属小学校）の実践から-
赤坂 珠子（三重大学・大学院生）
- ④ 11:15～11:40 教育実践における雰囲気との対話が意味するもの
守山 紗弥加（三重大学）
- ⑤ 11:40～12:05 自己を見つめ直す契機としての対話的な学び
-奈良少年刑務所における寮美千子の「絵本と詩の教室」に学んで-
松永 康史（桜花学園大学）
- 12:05～12:30 全体討論

【第3分科会】（6号館 6606 講義室）

司会：竹川慎哉（愛知教育大学）・広川由子（愛知江南短期大学）

- ① 10:00～10:25 差異のコミュニケーション教育のありか
-モノトークを例に-
鬼頭 孝佳（名古屋大学・大学院生）
- ② 10:25～10:50 二言語（日本語と英語）を提示する理科授業の学習効果の検証
-フィリピンにつながる生徒に視点を当てた授業実践から-
林 敬一郎（三重大学・大学院生）
- ③ 10:50～11:15 日本の高等学校英語教育における CEFR の可能性
-高等学校英語教員の視点から-
亀谷 みゆき（朝日大学）
- ④ 11:15～11:40 台湾の大学におけるある日本語教師の授業改革の試み
-3年間のZさんの授業参観及びインタビューより-
○康 鳳麗（鈴鹿医療科学大学） 森脇 健夫（三重大学） 坂本 勝信（常葉大学）
- 11:40～12:05 全体討論

【第4分科会】（6号館 6502 講義室）

司会：内田純一（愛知県立大学）・坂本将暢（名古屋大学）

- ① 10:00～10:25 地域の社会や産業を担う人材育成に対する専門高校の役割と課題
服部 晃（岐阜女子大学）
- ② 10:25～10:50 部活動の在り方に関する議論の教育課程論的検討
-学校教育の役割に着目して-
鈴木 草宮駒（名古屋大学・大学院生）
- ③ 10:50～11:15 保護者は教育課程経営にどのように関わるか
-中学校の学年経営の事例から-
首藤 隆介（名古屋市公立中学校）
- ④ 11:15～11:55 小規模校における若手教員の資質能力向上のための校内研修体制の開発
-「コミュニティ」を軸として学び合う中学校教員集団へ-
○日下部 秀人（岐阜大学・大学院生） ○石川 英志（岐阜大学）
- 12:05～12:30 全体討論

【第5分科会】（6号館 6503 講義室）

司会：井上兼一（皇學館大学）・田川隆博（中部大学）

- ① 10:00～10:25 リカレント教育概念の構造
- 1973年 OECD 報告再読 -
加藤 潤（愛知大学）
- ② 10:25～10:50 教育学と看護学の質保証をめぐる議論とその課題
森 透（福井医療大学）
- ③ 10:50～11:15 特別支援教育における事例シナリオ開発に関する研究
大西 宏明（三重大学・大学院生）
- ④ 11:15～11:40 公教育において学びの「責任」を生徒に移行することは可能か
- オルタナティブ教育を公教育へ導入する際の障害について -
岡本 久美子（元名古屋市立中学校講師）
- ⑤ 11:40～12:05 武道の近代化と教育
張 平成（名古屋大学・大学院生）
- 12:05～12:30 全体討論

【第6分科会】（6号館 6504 講義室）

司会：安達仁美（信州大学）・趙卿我（愛知教育大学）

- ① 10:00～10:25 小学校教員養成課程における〈器楽〉教育の実践
- 音楽科指導法における打楽器講座の試み（1） -
松井 奈都子（名古屋市立大学・大学院生）
- ② 10:25～10:50 道徳教育における子どもの自我関与の分析と評価
丹下 悠史（愛知東邦大学）
- ③ 10:50～11:30 教育評価における子ども理解のあり方
- 問題解決学習の理論構築をめざす名古屋大学教育方法研究室の初期の活動を手がかり -
○柴田 好章（名古屋大学） ○石原 正敬（名古屋大学）
- ④ 11:30～12:10 ピアノ実技における学習のためのルーブリック活用
- 教員養成課程での実践を通して -
○服部 慶子（静岡大学） ○長谷川 哲也（岐阜大学）
- 12:10～12:35 全体討論

＜午後の部＞ 14:30～17:00 公開シンポジウム

(6号館 6202 講義室)

「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを問い直す

趣 旨

次期学習指導要領の全面実施に向けた移行措置に伴い、現在、学校現場は「主体的・対話的で深い学び」の実現という要請への対応に追われています。とはいえ、現職教師や研究者の間で、「主体的」な学びとは何か、また、「対話的」な学びとは何か、そして上記二つがどう統一されれば「深い」学びが成立するのか、といった疑問を解消するための「詰め」の作業（＝研究）がどれだけ進んでいるでしょうか。誤解を恐れずにいえば、これらについて十分な確認もなされないままに「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに取り組んでいるのが実情ではないでしょうか。

本シンポジウムでは、こうした問題意識に基づいて、これまで理論的・実践的に追究してこられた3人のシンポジアストを迎え、いま、求められる「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりを理論的・実践的に問い直します。まず、①小・中学校から高等学校まで幅広いフィールドで精力的に研究を進めてこられた柴田好章氏には、学校現場で進行している授業づくりの「スタンダード化」をどう捉えるかも視野に入れて、また、②子どもの「真正の学び」の実現と保障を目指した実践的研究によって脚光を浴びておられる石井英真氏には、教育と科学との統合という視点をも含めて、さらに、③公立高等学校の教務主任として全校挙げてのアクティブ・ラーニングによる授業改革を主導した経験をお持ちの杉江祐子氏には、日々の授業実践において「主体的・対話的で深い学び」と格闘している学校現場の実態を踏まえて、それぞれの立場からご提案いただきたいと考えています。

なお、本シンポジウムは無料です。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

シンポジアスト

●柴田好章(名古屋大学)

「一人一人の子どもの豊かな学びを実現するための授業研究の役割」

名古屋大学出身。小・中・高等学校での授業研究・授業分析を専門としている。社会科の初志をつらぬく会に所属し、問題解決学習の研究にも携わる。近年では、学校・教育委員会と連携し、校内授業研究、ミドルリーダー育成、カリキュラム・マネジメントなどの共同研究に取り組む。

●石井英真(京都大学)

「今めざすべき授業のあり方ー『真正の学び』を実現する『教科する』授業へー」

専攻は教育学（教育方法学）。現代社会が求める学力や授業や学校のあり方について、歴史や諸外国の動向に学びながら研究している。主な著書に『今求められる学力と学びとはーコンピテンシー・ベースのカリキュラムの光と影』（日本標準、2015年）など。

●杉江祐子(岐阜県立大垣北高等学校)

「授業で輝く学校づくり」

教職歴30年。国語科。可児高校、各務原西高校、岐阜北高校、関商工高校、本巣松陽高校を経て、本年度から大垣北高校の教頭を務める。授業における現場の悩みに寄り添い、様々な先生と学び合うなかで、打開策を引き出していきたい。

指定討論者

石川英志(岐阜大学)

司 会

豊田ひさき(朝日大学)

アクセスマップ



ドコモショップ穂積店南側の「教職員用駐車場」をご利用ください。

バス時刻表

- 朝日大学スクールバス（JR 穂積駅－朝日大学）

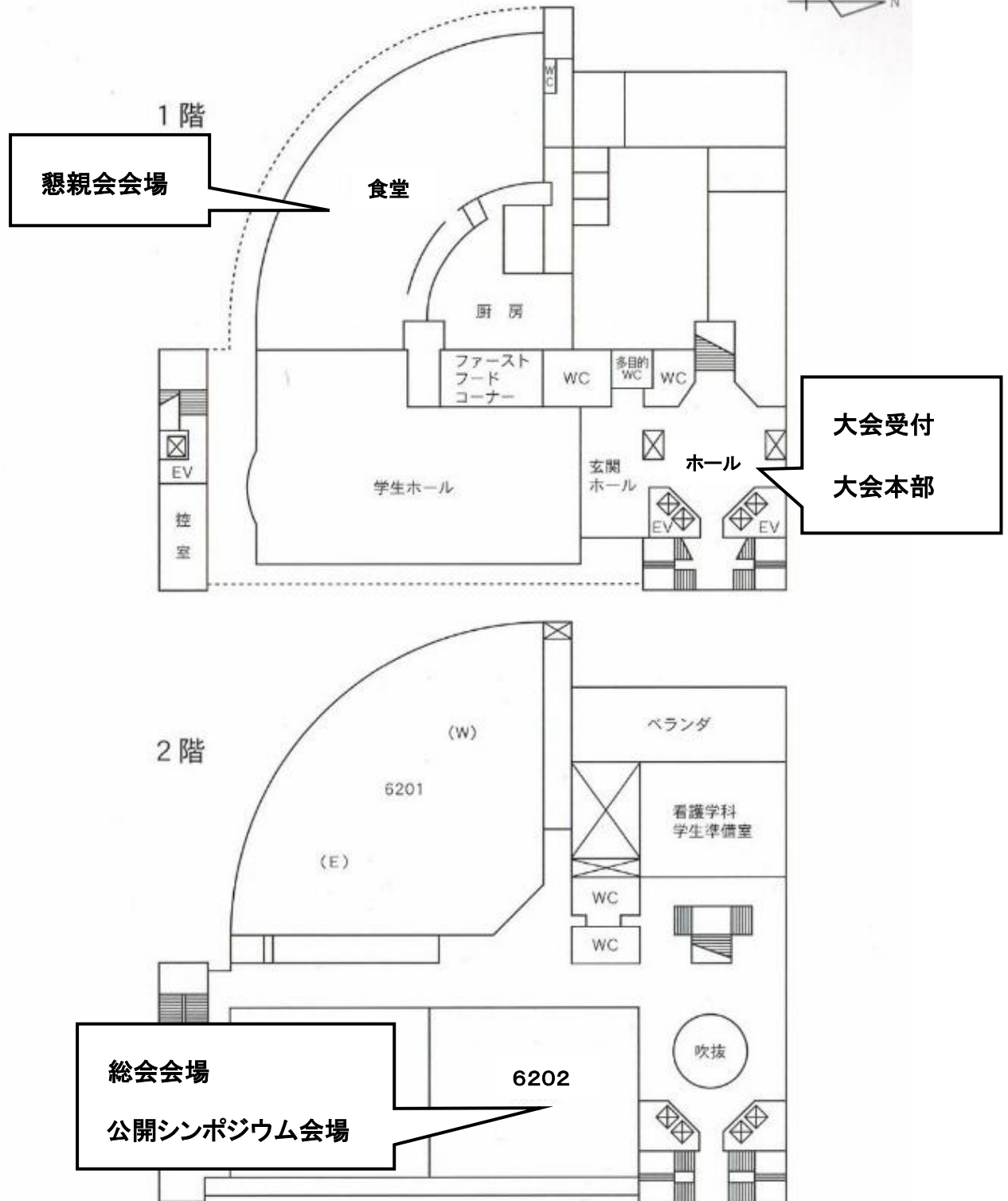
	行先		行先	
	穂積駅発→朝日大学行		朝日大学発→穂積駅行	
7時	53		8時	4 36
8時	24	47	9時	4 36
9時	21	51	10時	3 40
10時	26	50	11時	13 56
11時	6	45	12時	36
12時	6	45	13時	0 36
13時	8	43	14時	0 36
14時	10	46	15時	0

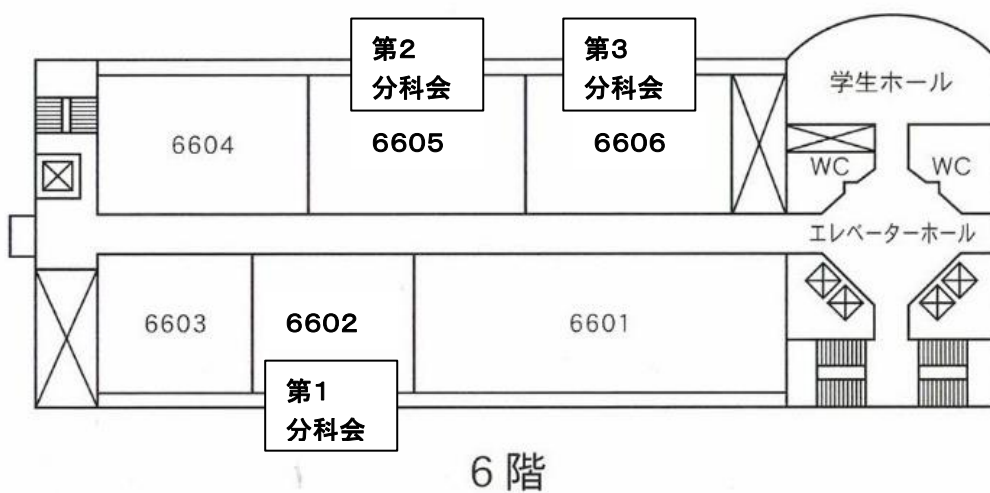
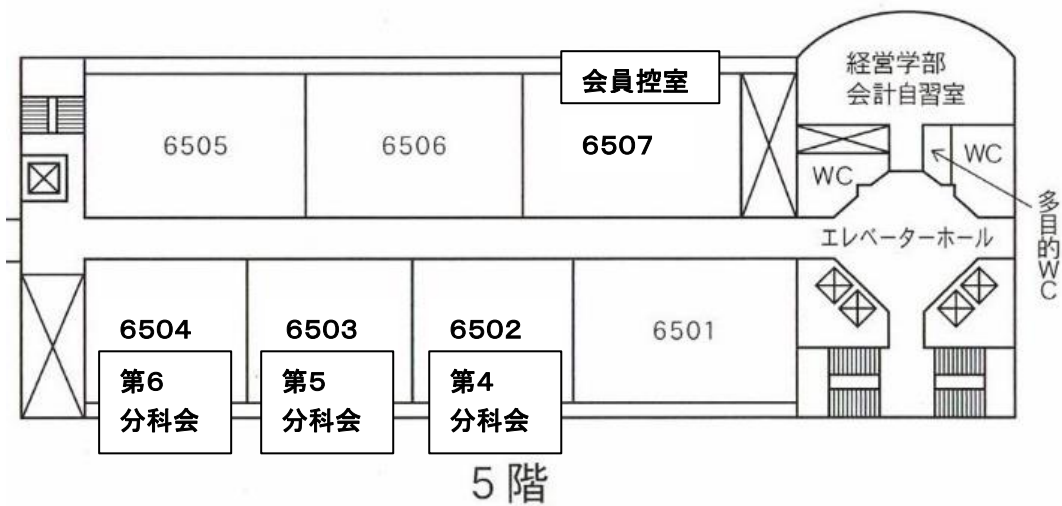
- 名阪近鉄バス（穂積駅前－朝日大学北）

	行先		行先	
	穂積駅前発→朝日大学北行		朝日大学北発→穂積駅前行	
8時	0		7時	37
9時	7		8時	25
10時	7		9時	50
12時	7		11時	35
13時	7		12時	35
16時	17		16時	5
17時	55		17時	12
19時	5		18時	27

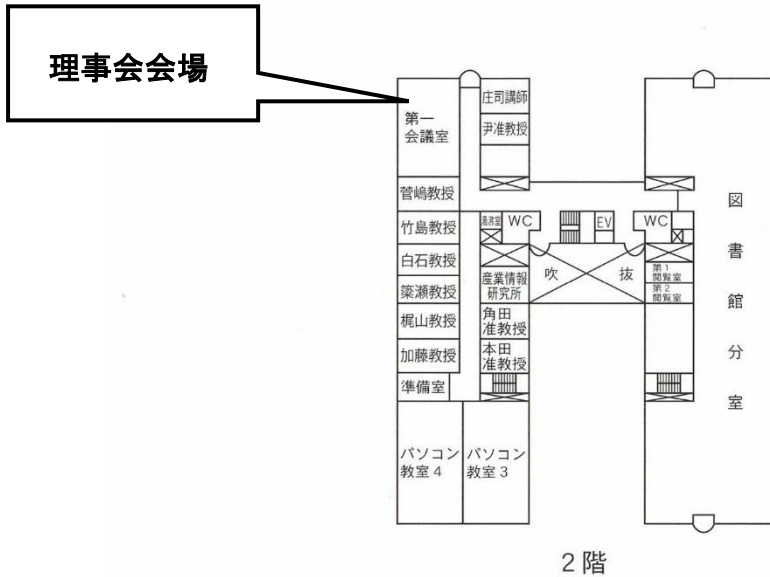
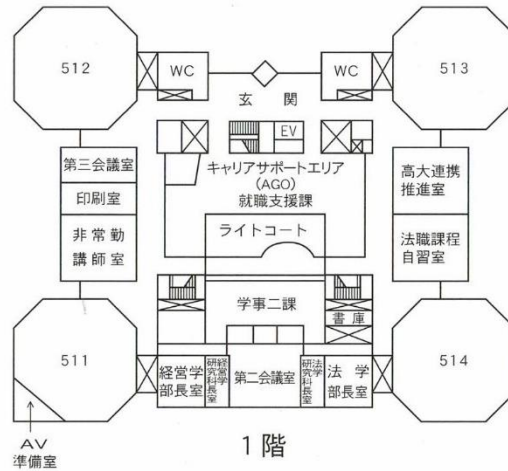
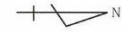
会場配置図

6号館





5号館



自由研究発表

- 〔第1分科会〕 6号館 6602 講義室
- 〔第3分科会〕 6号館 6606 講義室
- 〔第5分科会〕 6号館 6503 講義室

- 〔第2分科会〕 6号館 6605 講義室
- 〔第4分科会〕 6号館 6502 講義室
- 〔第6分科会〕 6号館 6504 講義室

- 〔理事会〕 5号館 2F 第一会議室
- 〔総会〕 6号館 6202 講義室
- 〔公開シンポジウム〕 6号館 6202 講義室
- 〔懇親会〕 食堂 (6号館 1F ※予定)
- ※会員控室: 6号館 6507 教室
- ※大会本部: 6号館 1F エレベーターホール

